

家庭・地域と学校をつなぐ学校だより



いなむら

令和6年12月23日 彦根市立稲枝北小学校

学校教育目標 ふるさとに誇りをもち、未来にたくましく生きる子どもの育成

～目に美しく 耳に美しく 心に美しく～

No.9

い…いなむらのよさを語る子
な…なかまを大切にする子
む…むちゅうで活動する子
ら…らしさを発揮して自ら学ぶ子

「充実した冬休みをお過ごしください」

～ 季節の行事や風習 ～

本日をもって、2学期が無事終了します。子どもたちは学習に運動に生活に精一杯取り組み、充実した80日間だったと思います。2学期を振り返ると、運動会、校外学習、稲村かるたオリエンテーリングなどの学校行事を通じて、貴重な体験をし、大きく成長できたと思います。子どもたちがここまで、大きな事故等もなく元気に過ごすことができたことは、ひとえに保護者の皆様、地域の皆様のおかげと感謝申し上げます。

さて、明日から始まる冬休みは、日本の昔からの行事に出会う時期です。まず大晦日。かこさとし著『かこさとし こどもの行事しぜんと生活12月のまき』のなかに、大晦日の除夜の鐘について、次のように書かれています。「除夜とは、『ふるい年を除く夜』という意味で、一年最後の夜、大みそかの夜のことです。その大みそかの夜、午前0時をはさんで、各地の寺では鐘を一〇八回つきます。一〇八というのは、人間がいきているときにあらわれる煩惱(まよい)の数などといわれ、その煩惱を鐘の音ではらいきよめ、あたらしい年をおかえます。」除夜の鐘をききながら新年をおかえるということには、実はとても深い意味があったのです。大晦日の夜に、家族そろって食べるのが年越しそばです。この年越しそばは江戸時代に広まりました。そばは細く長いので、長寿を祈って食べるようになったと言われています。また、そばは他の麺類と比較して途中で切れやすいので苦労と縁が切れる、運気が上がるなどの、縁起の良い言われがあります。意味を知って食べると、来年も元気に過ごせそうですね。

正月は、一年の大切な節目であり、新しい一年の豊作を願って準備されてきました。年が明けてからはじめて神社仏閣に参り、1年の無病息災や家内安全などをお祈りすることを「初詣」といいます。お正月飾りは、縁起を担ぎ29日(二重苦)と31日(一夜飾り)を避けて飾りました。初夢に縁起が良いとされる「一富士、二鷹、三茄子」は、諸説ありますが、「富士=無事、鷹=高い、茄子=成す」に掛けたものと言われています。悪い夢を見たときは、南天の木をゆすると「難が転ずる」ため、悪事が祓われると言われていました。季節の行事や風習には、さまざまな思いがあり、日本人が培ってきた人としての「生き方」が表されていると感じます。

学校も今年一年間を振り返るとともに、夢や願いをもって新年を迎えられるよう準備してまいりたいと思います。保護者の皆様・地域の皆様、来年もご支援のほど、よろしく願いいたします。よい年をお迎えください。

【稲枝北小学校 学校ホームページ】

学校生活の様子や行事予定等を学校ホームページでお伝えしています。日々更新していますので、ぜひご覧ください。下の URL または右の QR コードよりアクセスください。

<https://www.fureai-cloud.jp/inaekita-hikone/>
学校給食献立や下校時刻、月行事予定等は、学校ホームページでお知らせします。



校外学習(2年生 5年生)

11月26日(火)5年生は、パナソニック草津工場、琵琶湖博物館へ出かけました。パナソニック草津工場では、冷蔵庫が組み立てられていく工程を見学しました。海外の冷蔵庫や電化製品が展示されたショールームも見学させていただき、国によって冷蔵庫の仕様も随分違うことに気が付きました。日本だけでなく、海外へ輸出する冷蔵庫も作られていました。注文どおり作られるように、冷蔵庫

にはバーコードがついていて、どのような装備になるのかがすぐに分かるようになっています。工場のラインの工夫も見つけることができました。よい学習となりました。



琵琶湖博物館では、課題に沿って見学したあと、琵琶湖環境についてお話を聞きました。今後、琵琶湖環境をどのように守っていくのかを考えるヒントをたくさん教えていただきました。2月のいなむら学習発表会で、学習のまとめを発表する予定です。

11月27日(水)2年生は、バスと電車に乗って彦根駅、彦根市立図書館、平和堂 HATO スタジアムへ行きました。バスの運賃の支払いや、電車の切符の購入を、一人一人行いました。間違えないように慎重にお金を数え、緊張しながら投入口へお金を入れていました。普段なかなか経験できないことではないかと思います。よい経験となりました。彦根駅では、駅員さんの仕事や、駅の仕組みについて教えていただきました。彦根市立図書館では、貸し出しや返却方法、図書館の中の秘密などたくさん教えていただき、見学後の生活科の学習を充実させることができました。平和堂 HATO スタジアムでお弁当をいただき、また、電車とバスで帰校しました。貸し切りバスを使わず公共交通機関を使っ

ての校外学習を実施することができました。



【6年 未来共創授業】

12月6日(金)コカ・コーラボトラーズジャパン株式会社所属のデフ陸上選手である山本剛士さんが、6年生に「未来共創授業」として、お話に来てくださいました。山本選手は聴覚障害のある陸上選手です。人工内耳をつけ、市内の小学校・中学校で生活し、県立高校、大学と進まれました。その中で陸上競技と出会い、来年度東京で行われるデフリンピック出場を目指して練習に励まれています。2024



年7月に台湾で開催された「第5回世界デフ陸上競技選手権大会」では、男子4×400メートルリレーで2位、男子400メートルは8位入賞されました。デフ陸上のルールで、人工内耳や補聴器は付けられないので、ライトや旗がスタートの合図として使われます。模擬のスタートランプを使って、子どもたちも走ることを体験させてもらいました。山本選手から最後に「挑戦」することの大切さを教えていただきました。子どもたちの心に届くお話でした。

